

## 平成 30 年度香川大学大学院修了式 学長告辞

本日、香川大学大学院から学位を授与された 268 名の修了生の皆さん、誠におめでとうございます。本日、ここに平成 30 年度香川大学大学院の修了式を挙げることは、皆さんの指導教員はもとより、香川大学教職員一同にとりまして大きな喜びであります。本学大学院は皆さんを含め、これで 5,399 名の修了生を輩出したこととなります。皆さんを支えて来られたご家族や関係者の皆様に心からお慶びを申し上げます。

大学院での皆さんの学びや研究成果は今後の皆さんの人生にとって有形無形の財産となることは間違いありません。学位や論文などの有形の成果はもちろんですが、形のない無形資産の方がこれからの人生にとってより大きいかもしれません。テクノロジーが急速に進化し、高度な電脳化社会が形成されつつあります。寿命もますます延びると予想されています。働き方や生き方、人間関係まで変えていかななくてはならない局面を私たちは迎えております。このように現時点では予見不可能な課題に将来直面した時にこそ、皆さんが大学院で得た無形資産が役に立つと思います。

さて、本日の大学院の修了式を迎え、学長として二つの言葉を贈りたいと思います。

1 つは、今後も大きな問いを立てて、学び続けてほしいということです。

人生百年時代を迎え、皆さんは複数のライフステージを生きていかねばなりません。一つの専門や資格で天から授かったライフスパンを渡りきることは難しくなったということです。社会人として今回の大学院で学ばれた方は、すでに何らかの職業やライセンス、資格をお持ちかもしれません。これからの長い人生を自らも幸福に、さらに社会にも貢献し、周りの人々にも幸せをもたらすためには、常に自らを見つめなおし、何を新たに学び、身に着けるべきかを問い続ける必要があります。これは一見大変そうですが、一方で平均寿命が60歳程度であった終戦後の日本人と比べればはるかに多様な人生を経験できる点で大変幸せなことだと思います。要するに、自らが努力すれば選択肢は無限であるということです。チャレンジ精神を持ち続けて人生の選択肢を増やしていただきたいと願っています。香川大学大学院は今後も皆さんの学び直しの場を提供できるように改革を続け、皆さんをいつでも歓迎します。

2つ目は、真なるもの、正しいものを見分ける判断力をさらに磨いてほしいということです。大学院での研究生活では人文社会科学にせよ、自然生命科学にせよ、サイエンスを学ばれたことには相違ありません。心理学や統計学はもとより、広く科学研究で頻繁に使用される「バイアス」という言葉があります。サイエンスではこのバイアスを如何に排除して真実に迫るかが大変重要です。一方、日常生活でも我々は様々な局面で物事を判断する際に、知らず知らずに色眼鏡でものを見てしまいます。

無意識のバイアスと言われるものです。色眼鏡で見てしまうために真実を歪めて見てしまい、大事な局面で判断を誤ることがしばしば起こります。大学院を修了し、一段と高度な学識を備えた皆さんのこれからの人生には、何度も重要な局面が訪れ、判断を迫られる機会が増えてくると思います。自分の内なる無意識のバイアスに気づき、それらを排除して賢い判断を下すためには、つねに自分自身をクールに見つめる視点が必要です。

今、日本を含む世界の国々は、あらゆる意味で大きな曲がり角にきております。AI やロボットの導入、少子高齢化などに伴う社会構造の劇的な変化、隣国との摩擦の増大、宗教や民族間紛争の拡大、地球環境の悪化に伴う気候変動など、難題が山積しております。大学院で修士号、博士号を取得された皆さんには、知のプロフェッショナルとして社会をリードしていくことが期待されています。近未来社会のシナリオの設計者としての使命を十分に自覚して、活躍されることを期待しています。

研究は大学院時代の一回のみではありません。繰り返しになりますが、人生百年時代を迎え、何度も学び直しが必要になっております。本学では2022年4月に向けて大学院の大幅な改組を計画しています。新しい大学院では卒業生が何回でも大学で学べるような教育・研究体制を整えたいと思っております。いつでも気軽に大学に戻ってきてください。

最後に、サムエル・ウルマンの「青春」に関する詩の一部を紹介しま

す。「青春とは人生のある時期を言うのではなく心の持ち方を言うのだ。年を重ねただけでは人は老いない。理想を失う時に初めて老いが来る」。学び続けることはヒトの精神をいつまでも若くします。香川大学大学院はいつでも皆さんに扉を開いて待っております。人生は壮大な研究だと思っいつでも飛び込んできてください。

あらためまして本日無事修了式を迎えられた皆さん、誠におめでとうございました。

平成 31 年 3 月 24 日

香川大学長 笥 善行